

府中西高校での生活について

気をつけてほしいこと

- ①家でちゃんとご飯を食べているか、ちゃんと寝ているか、気をつけてください。
みなさんの国の学校と日本の学校は、ルールやことばが違います。
だから、日本の学校で勉強することはとても大変です。
府中西高校に慣れるためには時間が必要です。
日本語が分からなくて授業が分からない、友達ができなくてさみしい、学校で困っていることがあれば、すぐに学校へ言ってください
- ②家族の理由で学校に遅刻したり、休んだりしないように気をつけてください。
アルバイトや家の手伝いもしなければならいかもしれません。
塾などで勉強をしなければならいかもしれません。
でも、忙しくなつてかぜをひいて、学校を休むと、成績が悪くなります。
ですから、親の都合で子どもが学校を休むことはやめてください。
心と体が元気に過ごせるように気をつけてください。

教務部

出欠席

- ①欠席や遅刻はさくら連絡網で担任に知らせてください。
- ②親や家族で国へ帰るときは、必ず担任の先生へ言ってください。
- ③授業日数の1/4より多く休むと単位が取れません。
- ④単位が足りないと進級、卒業ができません。
- ⑤中間考査、期末考査は大切です。休まないようにしてください。
- ⑥日本の学校の成績は、宿題やテスト、授業でがんばっているかを全部評価します。
- ⑦テストだけいい点数でもいい成績にはなりません。
- ⑧毎日、生徒に学校から連絡があります。休むと連絡ができません。休まないでください。
- ⑨府中西高校では、外国人の生徒のために、特別な授業や特別なテストをしています。

生徒部

- ①髪の毛を染めたりパーマをかけることはできません。
- ②化粧(メイクアップ)はできません。カラーコンタクトもつけることはできません。
- ③ピアスやアクセサリをつけることはできません。
- ④自転車で通学する人は許可証が必要です。ヘルメットもかぶってください。
- ⑤日本では、20歳からお酒を飲んででもいいし、たばこを吸ってもいいです。
- ⑥でも学校のルールでお酒やタバコは禁止です。
- ⑦車やバイクで学校に来ることはできません。
- ⑧お昼ごはんを外に買いに行くことはできません。

進路部

- ①大学に行くときも、仕事をするときも、学校の成績がよいことはとても大切です。
- ②大学や専門学校に進学する費用が日本は高いです。
- ③大学に行くときは、面接や作文で行く人が多いです。
- ④欠席が多いと推薦が受けられません。
- ⑤就職する人は、学校を通して申し込みます。
- ⑥大学へ行くとき、お金を借りることができます。
- ⑦仕事のビザの人は、お金を借りる方法が少ないです。
もし子どもが大学に行きたいなら、定住者のビザに変えることも考えてください。
- ⑧外国人でも外国の高校を卒業した人と日本の高校を卒業した人は受けられるテストが違います。
どんなテストを受けるかは学校とよく相談して決めます。
- ⑨大学を選ぶとき大事なものは「勉強したいことが勉強できるか」です。
また、「入学できて卒業できるか」や「お金が払えるか」も大切です。
- ⑩もし外国の大学に行きたいなら、準備がたくさんありますから、早く相談してください。
- ⑪子どもが日本にいるために、親も日本にいなければなりません。
子どもが自分で日本に住むことができるまで、日本にるようにしてください。

1 学年

- ①1年生は12月に日本語能力試験を受けなければなりません。だから、放課後に週2回、日本語の勉強があります。日本語部と言います。1年生は必ず参加しなければなりません。アルバイトや家族の理由で休むことはできません。どのレベルを受けるかは、学校でテストをして決めます。9月に申し込みをしますから、あとで詳しく言います。
- ②府中西の生徒は部活動をしなければなりません。でも、外国人の生徒は日本語部に入らなければなりません。ほかの部活動に入ることもできます。

経営企画室

授業料についてはすべての人が払わなくてよくなる予定です。保護者の方にしていただくことがあるときは、生徒を通してお手紙を送りますのでよく確認してください。

また、さまざまな給付金制度については、入学後にお知らせいたします。それぞれの給付金は、決まった収入制限がありますが、対象となると、修学旅行や端末購入等への支援金を受けることができます。申し込みのやり方や詳しい説明は、生徒を通じて入学後にお手紙を配りますのでよくご確認ください。

授業料とは別に、学校行事や教材に必要な金額として、積立金を集めています。積立金は5月から9月に月1回、登録していただいた銀行から引落しをさせていただきます。金額は入学後に生徒さんを通じてお知らせしますので、引落日に合わせて口座へお金の準備をよろしく願いいたします。

主にお金や制度に関することは、経営企画室に電話してください。